

NEXT INFO

②

第 1 次出展申込締切迫る！

1/31 までのエントリーで小間割抽選時に優先権ゲット

いまあらためて考えたいプロの存在意義

撮影ビジネスの『あり方』

京都・伏見区にある「Gorimama Studio」オーナーカメラマンのゴリママ氏は、医療的ケアや障がいなどで自立・座位が難しい子ども向けの衣装ブランド「NOERU WINGS®」（特許申請済み）を立ち上げるとともに、支援が必要な子どもを撮影するためのセミナーを開催。さらに、そうした撮影を手がけているフォトスタジオやフォトグラファーを検索できるポータルサイトも運営しています。本コーナーでは、先般実施した「PHOTONEXT2025 開催概要説明会」にてゲスト出演され、そこで主催者と繰り広げたトークセッションの内容をクローズアップしていきます。

PHOTONEXT には 2023 年と 2024 年にセミナー講師を務めるとともに、それに関連したブースを主催者コーナーに構えました。2023 年は「顧客の多様性に応えるための衣装提案～障がいがあっても利用しやすいスタジオを目指して～」、2024 年は「これからの時代必見！障がいや医療的ケアのあるお子様の撮影ノウハウ」と題して講演しました。

「どちらの年も、支援が必要なお子様を撮影するにあたっての心構えや、実際にどのように撮影しているか、NOERU WINGS® の衣装があればどれだけスムーズに撮影ができるか、呼吸器を付けているお子様でも撮影できるという



PHOTONEXT2024 の主催者コーナーに出展した NOERU WINGS®



こと、その可能性についてのお話などをさせていただきました」

ブースのある主催者コーナーは、アウトレット会場に隣接していました。来場者のなかには、人気商品をいち早くゲットするためにアウトレット会場に向かう人たちもいましたが、その一方で NOERU WINGS® の展示内容に関心を示す人も少なくありませんでした。「このブースを見るために来ました!」という人もいました。

「初めての出展で、そういう方たちにお越しいただき、本当に嬉しかったです。そして 2 回目の出展は、前回以上に多くのスタジオやフォトグラファーの方たちが NOERU WINGS® に関心を持ってくださいました。スタッフを 2 名連れてきたのですが、それでも対応しきれないほどでした。セミナーは、最初の年は 50 名強の方たちが聞きに来られましたが、次の

年は 90 名近くにまで増えており、なかには『セミナーを聞いて泣いてしまったのは初めて』という方もいました」

医療的ケア児の撮影 その垣根を低くする

PHOTONEXT 終了後には、自ら主宰するセミナーを開催したゴリママ氏。そのなかには、PHOTONEXT 来場者も多くいたようです。

「そこから医療的ケア児の撮影を本格的に始められた方もいれば、テレビや新聞に取り上げられるなど関心を集める動きも見られます。助成金を使って衣装を購入されたスタジオもあり、そこへ私が撮影のレクチャーへ伺ったり、アフターフォローをさせていただいたこともあります。七五三のシーズンにて、NOERU WINGS® の

衣装をレンタルして撮影会をされているところもありましたね。『これから撮影をしていきたいんだけど、どのように謳っていったらいいの?』などといった方からの相談をオンラインで受ける機会もあります」

「医療的ケア児の撮影は、NOERU WINGS® の衣装があるところから!」という認識が徐々に広まっていきました。「ただ衣装を着させる、ということではなく、どこからでも管が出せるようになっているなど、工夫されているところに多くの方からの関心が集まっています」

前述したポータルサイトには、現在約 50 件のスタジオやフォトグラファーが登録されています。サイトへの登録は無料。登録すると、NOERU WINGS® の衣装が 2 割引でレンタル・購入可能となります。

「支援が必要なお子様を持つ親御様のなかには、撮影を予約したくても『うちの子は呼吸器を付けているんですけど…』とか『発達障害があって多動で、暴れまわったりすることがあるんですけど、それでも撮ってもらえるんでしょうか?』ということを知りたくても聞けず、結局は（撮影を）諦めている方もいます」

一般的に撮影ビジネスの分野では、とくに大きな需要期である七五三シーズンに集客しているスタジオやフォトグラファーが多く見られます。実際に利用したいと考える顧客のなかに医療的ケア児のいる家族もいることを考えると、そういう家族でも安心して利用できるように、まず「垣根」を低くする環境を整える必要があります。

「撮影する側と撮られる側、それぞれがwin-winとなるように。ポータルサイトには、そのことをご理解いただいたスタジオやフォトグラファーの方々に登録していただいています。登録にあたっては、私から撮影技術のほか接客、経験などを聞いています。お客様が安心してご利用いただけるスタジオ、フォトグラファーの皆様の登録が中心となっています」

ポータルサイトでは、利用者が「スタジオ」と「出張撮影」のどちらかを選ぶことができるようにしており、それぞれ20数件の登録がある。登録先のなかには、自身の子どももダウン症であり「ダウン症のお子様のみ撮影しています」というところもあります。

サイトを立ち上げてから、いきなり登録数が増えたわけではないようです。カメラの技術があっても子どもや赤ちゃんのみの撮影しかしていないなど、接客や家族写真の撮影経験が少なすぎる人もいました。「可愛そうな人を可愛く撮ればいいでしょ?」とか、接客時に言うてはいけないことなど、そのあたりの理解がなくて断ったケースもあったようです。

「ただ、医療的ケア児のご家庭でも、七五三の撮影をしたいのに、撮ってもらえるところがなくて困っている人もいます。ポータ



ルサイトには、そういった方たちのことを考えて撮影されるスタジオやフォトグラファーを増やしていきたいという想いがあります」

「セラピー」として 写真が果たす役割

インスタライブなどでも、支援が必要な子どもの撮影に関する情報を発信。写真を通じてできることを考えてきました。

「医療的ケアよりも発達障害のある方が多いと言われるのは、黒（ある）から白（ない）までの間にあたるグレーの部分が広くて、そのどこかに該当しているからだと思います。完璧に黒の人、完璧に白の人というのはあまりいなくて、いろいろな要素が含まれます。それによって見せ方や声のかけ方も変わってくるんです」

現在も、関連スクールに通って発達障害に関する勉強を積極的にしているゴリママ氏。そこで得られた知識を踏まえ、写真に落とし込みながらセミナー活動をしています。

「ノウハウがあることで、たとえば泣いて暴れているお子様は何故そうしているのか、どのように声をかけたらいいのか、といったことを知っておくことが大事。ざっくりと子どもの扱い方を知るとい

うのではなく、もっと理論に基づいた的確な言葉とか、声かけをするための引き出しが増えてきます。

2021年に障害者差別解消法が改正され、2024年4月より事業者による障害のある人への合理的配慮の提供が義務化されました。これにより、たとえば車椅子の方に対して、『スタジオは2階なのですが、当店は階段しかありません』と断るのではなく、『ロケーションでの撮影はいかがでしょうか?』『お客様のご自宅に出張して撮影することも可能です』『簡単かつ安全に着ることができ着物をご用意しております』『お洋服でも、こんなふうに素敵に撮ることができます』などご案内する。こうした引き出しを、どれだけ用意できるかが重要だと思います」

このような提案ができるスタジオやフォトグラファーを増やしていくことが、「写真のプロ」としての存在価値をますます高める機会にもつながります。お客様は「写真の技術」だけを求めているわけではありません。予約時の印象も含めて、「このスタジオ（フォトグラファー）にお願いして良かった」と感じ取ってもらえる「接客」も重要となります。

「一方、子どもたちへの『セラピー』として写真が使えないか、

とも思っています。たとえば、子どもの写った写真を子どもの目の高さに貼って飾って『このとき可愛かったね〜』って言ってあげたり、写真だけでなく子どもが描いた絵も貼って『上手に描けたね〜』ってほめてあげます。承認欲求を満たしてあげ、ほめることで自己肯定感が高まります。写真業界の企業でも、そうした取り組みが見られますが、私も『おうちに写真を飾ってくださいね』と声をかけたりしています。

そうしたことをイベント化して習慣づけることも大事だと思います。七五三の記念日には、撮った写真を家族みんなで見て、そのお子様が赤ちゃんの頃の写真も見て今までを振り返りながら会話をする——そういう機会をつくっていくことって大切ですよ。そこにプリントされた写真があることで、家族が集まって囲んでいろいろな会話ができます」

日頃、会話のない家族。離れ離れに暮らしていても、写真があることで集まり、思い出の1日となります。そして絆が深まるきっかけになります。写真を通じてできること。スタジオやフォトグラファーだからこそ果たすことができる役割。ゴリママ氏とのトークセッションにより、次なるPHOTONEXTの方向性も明確化されました。

PHOTONEXT 15周年プレイベント・京都セミナー

☆アルバム・衣装・ソフトなど NEXT 商材が集結☆



左上：新作衣装に身をまとったキッズモデルの撮影ライブシューティング 左下：生花を使ったニューボーンフォト撮影講座。右上：会期中は全国から300名近くが来場。右下：アルバムをはじめ新商品も多数展示され、注目を集めていた（写真は株式会社プロカラーラボのブース）。

2024年12月3～4日の2日間、京都経済センターで開催した「PHOTONEXT 京都セミナー」は、2025年6月10～11日にパシフィコ横浜で行なわれる「PHOTONEXT2025」15周年プレイベントとして実施。ここで繰り広げたセミナーを、横浜での企画につなげていくという考えで実施しました。

これまでに京都でのPHOTONEXTセミナーは、キッズファッションパレード内で2回実施。最初は子ども向け新作衣装に身をまとったキッズモデルの撮影シューティングをメインに行ないました。出展社による新作のポイント解説を経て、講師フォトグラファーに

よる、さまざまな小道具やライティング、ポージングの撮影バリエーションを繰り広げました。

この内容が好評を博して2回目も実施。1回目に引き続き、株式会社こどもとかめら・今井しのぶ氏が講師を務めました。さらにニューボーンフォト関連のプログラムも実施。安全・安心な撮影をするために知っておくべきポイントを、日本ニューボーンフォトセーフティー協会（JNSA）のフィスティック・マギ氏が、デモンストレーションを交えて解説しました。さらに、studio womb・筒井亜矢子氏は生花を取り入れた新しいニューボーンフォトの表現を、こちらでもデモをしながら伝授。ど

の講座にも、多くの聴講者が集まりました。

セミナーは講義と実技の2本柱で実施

先般のPHOTONEXT 京都セミナーも、講師は女性フォトグラファーが中心だったこともあり、横浜で開催しているPHOTONEXTと同様、スタジオやフォトグラファーの比率が高く、女性層の来場も目立ちました。セミナープログラムは、講義中心と実技を交えたものと大きく2つにわけてラインアップ。ブース出展社によるセッションも含めて合計8本のプログラムを設けました。

このうち、撮影実技のセッションとしては、3回連続での登壇となる、こどもとかめら・今井しのぶ氏によるキッズ撮影ライブシューティングのほか、フィスティック・マギ氏は「人生の宝物：ニューボーンフォトで描く家族写真」、studio womb・筒井亜矢子氏は「生花やLEDなどを取り入れた新表現ニューボーンフォト」をテーマに行なわれました。

そのほかの主だったセミナー内容やブース展示の様態については、主催者（株式会社プロメディア）が発行する月刊誌「スタジオNOW」2025年1月号に掲載。PHOTONEXT2025の予習も兼ねて、ぜひご覧ください。

NEXT INFO

次号予告

15周年企画の全容を公開

次回の見どころを紹介!!

- ①セミナーイベント骨子
- ②新規出展ブース情報
- ③新プログラム、ほか

主要スケジュール

- ◎第1次申し込み締め切り：1月31日(金)
- ◎最終申し込み締め切り：2月28日(金)
- ◎出展社説明会 / 小間割抽選会：3月21日(金)
- ◎搬入日：6月9日(月)
- ◎会期：6月10日(火)～11日(水)

公式サイト随時更新中!!

- ・会場マップ、出展社ブース、セミナープログラムなど、最新情報は公式サイト (<https://www.photonext.jp>) へ。会期に向けて更新いたします
- ・2025開催概要、出展に関わる重要事項説明書、出展申込書、前回レポートは、トップページよりダウンロードできます。通信誌「NEXT INFO」のバックナンバーもご覧いただけます。



《PHOTONEXT 情報満載の月刊誌》

主催者が発行する撮影ビジネスの現場からいまを伝える情報誌「スタジオNOW」。2025年も最新トレンドのほか「PHOTONEXT」に関する本誌だけの特別情報を発信いたします! 定期購読のお問い合わせは、info@studionow.jp まで。



フォトグラファーズ & フォトビジネスフェア

2025年6月10日(火)～11日(水)

パシフィコ横浜 Bホール

www.photonext.jp

主催：株式会社プロメディア
 主催団体：日本フォトイメージング協会
 一般社団法人日本写真映像用品工業会
 特別協賛：日本営業写真機材協会



NEXT INFO ②

- 本冊子は PHOTONEXT 関連トピックをまとめた通信誌です。
- 2020年にコロナ禍で開催を中止したため、2025年が15回目となります。本号にてレポートした京都セミナーにお越しいただいた皆様は、ぜひ6月に横浜へお越しください。さらにスケールアップした内容が盛りだくさんとなる予定です。
- PHOTONEXT に関するお問い合わせは主催事務局まで (TEL: 03-6302-0801、FAX: 03-6302-0802、メール: info@photonext.jp)。